

今期テーマ「想像力を磨く」

中特グループ CEO 橋本 ふくみ

皆さん、お楽しみ様です。

さあ、いよいよ3カ年計画の初年度56期がスタートいたしました！

今期のスローガンは、「想像力を

磨く」です。

「想像力」とは、実際には経験していない事柄などを推し量ること。また、現実には存在しない事柄を心の中に思い描くことと言われています。



私たちの生活の10年後は？30年後は？50年後は？どのような時代になっているのか想像してみてください。

テクノロジーの進化が目まぐるしく、グローバル化が加速する一方で、私たちが身体的、経済的に苦しめる新型コロナウイルスが目に見えない敵として、生活を瞬間に変えてしまう今日を私たちは生きています。

ウイルス自体は大変脅威ではありませんが、一方で働き方や家族の在り方、移動しないことによるCO₂の削減やIT化の加速など様々な影響について改めて考え、これから先を想像する機会も得ることになりました。

想像力は人と違った発想を生み、物事を多角的にとらえ、固定観念を取り払います。

そして何より想像力は未来を創り出します。

今期は重点方針として、改善提案をCTK (CHUTOKU KAZEN) 活動と名付け、全社一丸となって取り組んでまいります。

その際の視点として、無駄なく確実にこなすことが大事です。それ以上に一見無駄に見え、失敗するかもしれない未知のことに挑戦することも大切です。

前者はAIの得意分野ですが、後者は人でなければ出来ないことだからです。

また、新しい生活様式が生まれようとしている今、会社のシンボルマークを一新いたします。

まもなく公開いたしますが、とても素敵なものが出来上がりました。

さあ、グループ各社、私たち一人ひとりが心ひとつに、新たな一歩を踏み出しましょう。



特集

改善提案

もしも突然「今日の夕方、5時から2時間ほど残業してくれる？」と上司から指示があった時にあなたは「残業代もらえるならいいか」と思いますか？それとも「この作業はなぜ時間外にやることになったのだろう」と思うでしょうか？

もしかしたら工夫次第で、この作業は時間内にできた作業かもしれません。「ここに「改善のヒント」が転がっています。

誰でも仕事は確実に素早く行いたいものです。ミスを減らす事でより早く仕事を終えることが出来ます。そうすれば、時間に余裕ができて実施した作業の確認も出来ますし、翌日の準備にも十分な時間が割けるので、より効率が上がります。準備がしつかり整っていれば、現場到着後に忘れ物に気付いて慌てる、などという事はなくなりま

す。
職場に潜む「ムリ・ムダ・ムラ」をもっと見つけて改善につなげていきましょう。今回はもっと出来る！改善提案について特集します。

改善提案とは？

改善とは職場にある「ムリ・ムダ・ムラ」をなくすことです。

「この作業ムダな気がするな。」
「なぜこの方法でしかこの作業をしちゃいけないのだろう？」
「この重いものを手で運ぶのはきついし危ないな。」等と日々の業務



で感じることはありませんか？しかし、それらは安全上の理由や法令遵守の為のルールに基づいた作業のほすです。それを正しく理解しないまま、「〇〇の作業やめませんか？」などと提案し、上司や先輩に注意されてしまった事はありますか？ただし、しっかりと現状の把握が出来ていて、なおかつ具体的な根拠を示した上で提案すれば、きっと上司は耳を傾けてくれるのではないのでしょうか。

改善提案のコツ

実は、改善提案を考えるにはコツがあります。

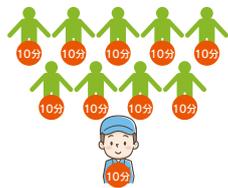
改善提案は次の様に大きく4つに分けられます。

- ①新しく物を購入する必要がなく、すぐに改善できるもの
- ②新しく物を購入する必要があるが、すぐに改善できるもの
- ③新しく物を購入する必要はないが、改善に時間がかかるもの
- ④新しく物を購入する必要があり、改善に時間がかかるもの

この様に考えていくと改善提案がもっと身近なものになって来るはずですよ。

ポイントとしては、まずは①、続いて②をすることです。③と④は大きな成果は得られると思いますが、実現するまでの道のりは少々険しく、途中で検討を諦めることもあるかもしれません。しかし、①と②は承認が得られやすく、また実施しながらも更に改良が加えやすいので提案で想定していたより多くの効果を得られる可能性があります。

例：10人の部署で、月末の請求処理を余裕をもって行う場合の工夫



1日100分

1人10分の短縮

$\times 1\text{week} = 1\text{day}$

5日間

1週間



500分

8.3時間

1日1人10分の時間を短縮すると、1週間で500分（約1日）分の改善時間が生まれる！

毎週1人分の時間を短縮するのは難しいが、1人10分の有効利用ならできそう！

改善を思いついたら…

改善を思いついた時には、職場の先輩や上司に相談しながら出来るものはすぐやってみる事が大切で、まずは提案書に書き起こしていきます。

どの様な工夫をしたのか、どの様な効果が出たのか「1年で10万円の削減ができた」や「年間200回ある作業で、2時間の作業が1・5時間でできるようになった」（時給2,000円換算で年間100万円の削減）など、効果を数値などでしっかりと記します。分かりやすく表記された改善提案は、高評価が得られやすいのです。



改善提案フローチャート

